

事前に備える風水害

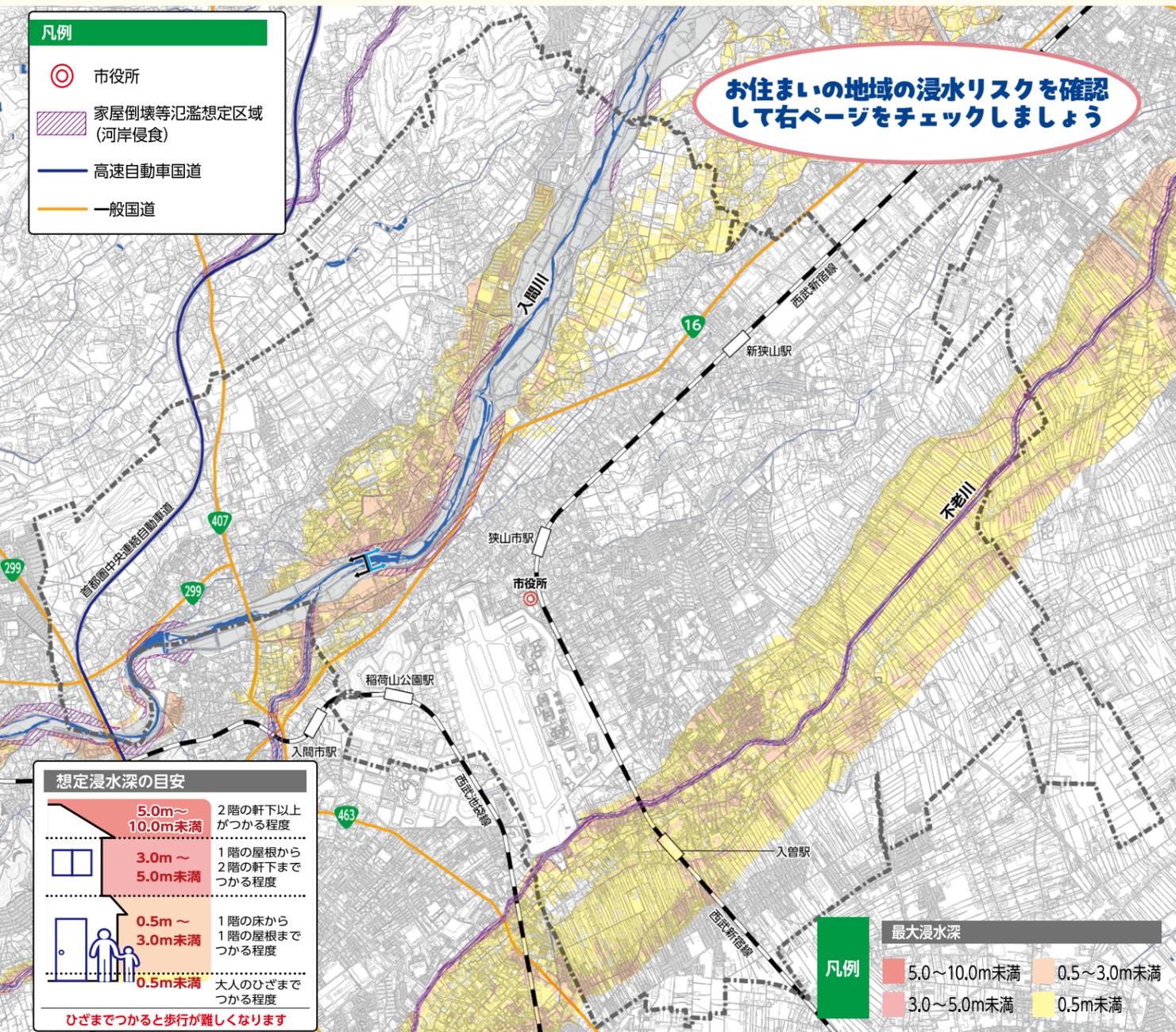
これからの時季は、台風や豪雨による風水害が発生しやすくなります。過去には市内でも、家屋の浸水などの被害がありました。風水害はあらかじめ予測しやすく、事前に備えることで被害を抑えることができるため、日頃からの備えが大切です。避難行動や備えは、住んでいる地域やその時の状況などにより、人それぞれ異なります。まずは、水害ハザードマップで浸水リスクを知り、何を備えどのように行動するべきかを確認しましょう。

浸水リスクを知ろう

水害ハザードマップは台風・豪雨などのおおむね1,000年に1度の大雨による災害が起こった際に被害が想定されるエリアや、避難所などを地図でまとめたものです。



▲区域別のマップはこちら



浸水リスクに合わせて備える

在宅避難のための備え

在宅での避難に備えて備蓄品を準備しておきましょう(1週間分・最低3日分)

- 飲料水 □非常食 □救急セット
- ウェットティッシュ □携帯ラジオ
- モバイルバッテリー(充電器) □LEDランタン
- ヘッドライト □ポリ袋 □ラップ
- 新聞用紙 □生理用品
- カセットコンロ・ボンベ □常備薬
- 乳児がいる場合
 - 粉ミルク・液体ミルク □哺乳瓶
 - 紙おむつ など
- ペットがいる場合
 - ペットフード □トイレ用品 など

避難所などへの避難のための備え

避難所などへ水平避難する場合に備えて「非常用持ち出し品」を人数分用意しておきましょう

- 非常用持ち出し袋
 - 貴重品類(通帳・印鑑・身分証など)
 - 飲料水・非常食・衣類・軍手
 - タオル・モバイルバッテリー(充電器)
 - ヘッドライト・救急セット
 - マスク など
- ヘルメット
- 雨具(レインコート)
- 運動靴
- ペットがいる場合
 - ペット用のケージ など

低 リスク 高

浸水リスクが想定される区域にお住まいの方

浸水被害が想定される場合

▶土のう・水のうを活用した浸水対策

建物への浸水被害を予防・軽減するために土のう・水のうの活用が有効的です。土のうは各地区センターなど(入間川地区センターを除く)に設置している土のう置き場で入手することができます。

▶垂直避難

想定浸水深が小さく、自宅の2階などで安全が確保できる場合は、垂直避難が有効です。むやみに避難所などへ避難せず、自宅内のより高いところに移動しましょう。



浸水リスクが高い区域にお住まいの方

河川の近くなど、自宅にいることが危険な場合は、避難所や安全な場所にある親戚・知人宅に避難しましょう。水平避難は災害が本格化する前に行うことが原則です。

▶事前に準備しておくこと

- 風水害の発生時に使用できる避難所の確認
- 避難所までのルート、危険箇所の確認



指定避難所・指定緊急避難場所

ハザードマップで示す浸水リスクは、被害がないことを約束するものではありません

警戒レベルごとの行動

それぞれの警戒レベルに合わせて、早めの避難行動を心掛けましょう

警戒レベル	避難情報	市民の皆さんがとるべき行動	情報発信源
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保	市町村が発令
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~			
4	避難指示	危険な場所から全員避難	
3	高齢者等避難	高齢者や障がいのある人など避難に時間を要する人やその支援者は避難を開始	
2	大雨・洪水注意報	ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認	気象庁が発表
1	早期注意情報	災害への心構えを高める	

## 避難情報などの取得方法

市公式SNS

- 公式X
- 公式 Facebook
- 狭山市LINE 公式アカウント ID:@citysayama

メール配信サービス

防災行政無線

防災行政無線音声 自動応答サービス 直近に放送した内容を聞くことができます ☎0120-81-3804

テレビ埼玉 [データ放送サービス]